

第48回山口湯田全私研（仮）

実行委員会ニュース



【第1号】

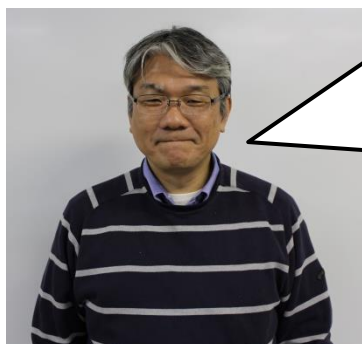
平成28年12月8日

《発行者》

山口全私研実行委員会

みなさんこんにちは！来夏の全私研を担当する現地実行委員会です。山口をはじめ、中四国ブロックの総力を結集して、全国の皆様をお迎えできるように、頑張りたいと思います！今後、実行委員会の準備の様子や、現地山口の見どころなどを皆様にお伝えします。どうぞご期待ください♪

実行委員長よりご挨拶









これまで、一九九〇年の島根・玉造全私研以来、各地の全私研におじゃまさせていただきましたが、まさか地元で全私研を開催することになるとは思ってもいませんでした。全国の皆さん、どうぞよろしくお祈いします。そして、おいでませ山口へ。

小倉章雄（山口：宇部鴻城）

実行委員会を紹介します

12月4日の第1回実行委員会にて、大まかな体制が決まりましたので紹介します。

<p>副委員長：佐伯 昭太（広島：安田女子）</p>  <p>実行委員会ニュースの発行等、情宣を中心に担当します。ウィンターセミナー広島で実行委員長を経験してきたことや、全国青年協の活動で出会った仲間との繋がりを生かし、小倉委員長をサポートします！</p>	<p>副委員長：前島 一公（岡山：明誠）</p>  <p>時は明治維新。日本を動かした多くの偉人を輩出したここ山口の地から、新たな時代の幕開けを予感しつつ。全国の先生方との繋がりを絆に変え、日本の新たな夜明けを迎えましょう。乞うご期待を！《高校生交流会も担当》</p>	<p>一致団結！</p>  <p>中四国ブロック</p>
<p>IT担当：里 太介（広島：広陵）</p>  <p>皆さんにたくさんの情報提供、および情報共有ができるようがんばります！</p>	<p>全体集会：益子原 賢治（広島：山陽）</p>  <p>これから山口の生徒・教職員と一緒に、様々なアイデアを形にしていきます。全国のみなさん楽しみにしてください。山口で会いましょう。</p>	<p>青年のつどい：飯野 良仁（香川：高松中央）</p>  <p>初参加の若手の先生方が「また来たい！」と思うような、ベテランの先生方が「今年はすごい！」と思うようなつどいを目指します！</p>

その他の役職については、今後の実行委員会で決めていくこととなります。決まり次第、随時紹介していきたいと思ひます。大ベテランの小倉委員長を支えるのは、広私教委員長の益子原先生と、各県の30代の青年教員という構図になりました。若手の躍動が単組の、そして各県・ブロックの未来を創ると言っても過言ではないでしょう。ぜひ、来夏の山口には、ベテランと若手が手を取り合って参加して頂きますよう、よろしくお祈い致します。

湯田温泉ってどんなところ？

湯田温泉は、山口県の中央に位置する山口市にあります。新幹線は新山口駅で乗り換えて、山口線で約20分です。湯田温泉旅館協同組合の公式HPによると、湯田温泉には以下のような伝説があるとされています。



昔々、湯田の権現山の麓の寺に小さな池があった。

その池に毎晩、傷ついた白狐がやってきて、足をつけていた。

この様子を見ていた寺の和尚さんが、不思議に思って、その池の水をすくってみると、温かい。

そこで池を深く掘ってみると、湯がこんこんと湧き、薬師如来の金像があらわれた。

この仏像は拜んで湯あみをすると難病も治る「白狐の湯」として評判となり、温泉は栄えたという。そんな湯田温泉にはこんな『ゆるキャラ』が！（上述のこともあり、キツネのようですね☆）

湯田ゆう太
年齢：5歳
好きな言葉：一期一会
血液型：O型
好きな物：ふぐ刺し
ゆう子ちゃん
苦手な物：キツネうどん
特技：パソコン



湯田ゆう子
年齢：5歳
血液型：A型
好きな物：美肌の湯 湯田温泉
熱中していること：美肌研究
苦手な物：紫外線と日焼け
特技：ダンス
自慢：真っ白いお肌よ☆

“のんびり屋”のゆう太ちゃんと“おませ”なゆう子ちゃんが、みなさんをお待ちしていま～す☆

湯田温泉の歴史

山口は、激闘の幕末に活躍した維新志士たちとゆかりの深い土地。湯田温泉はなんと、かの高杉晋作や伊藤博文、坂本龍馬らが度々訪れ、酒盛りをしていた場所なのです。当時志士たちが集まっていたという歴史ある旅館も残されています。この場所で、日本の歴史を築いた人物たちによる密議が夜ごと行われていたというわけです。彼らが入浴したという浴槽も残されており、「維新の湯」と呼ばれています。江戸時代の末期につくられたこの浴槽は、有名な志士たちがつかった貴重なものであるにも関わらず、誰でも利用できるのが魅力的です。また、日本のランボーといわれる詩人・中原中也も、この土地で生まれ育った人物です。中也の生家跡に建てられた「中原中也記念館」では、遺稿や遺品を中心に、貴重な資料を公開しています。また、井上公園に建つ詩碑では、中也がこの地を思い詠んだ「帰郷」という詩、錦川沿いにある詩碑には、小学校の教科書にもよく採用されている「童謡」という詩に出会うことができます。《湯田温泉旅館協同組合HPより引用》



次号では、山口の名所について紹介したいと思います。
12月下旬に発行予定です。
お楽しみに♪